

インドネシア

幹線道路補強事業



チレボン-チカンベック間幹線道路

[借款概要]

承諾額/実行額	11,992百万円 / 11,882百万円
借款契約調印	1991年9月
借款契約条件	金利2.6%、返済30年（据置10年）
貸付完了	1996年11月

[事業概要]

南スマトラ州及びジャワ島3州（東部、南部、中部）において、主要港湾と内陸の工業団地やコンテナ基地を結ぶ幹線国道（5路線、約650km）を改良することにより、地域の物流改善を図り、工業開発、輸出振興等に寄与するもの。

[評価結果]

本事業による道路改良（舗装強化、拡幅等）の結果、車両の走行速度は事業実施前1995年の40km/hから実施後の97年には60km/h以上へと改善し、道路輸送が大幅に効率化された。迂回道路との関係等から区間によって差はあるが、交通量は概ね増加傾向にある。特に、大型車両は、区間によって交通量の5割以上を占めるほど増加が著しく、本事業により舗装が強化されたことが、維持・補修経費の軽減にもつながったものと見られる。また、本事業の対象地域においては、1997年の通貨危機の影響により経済成長が鈍化しているが、今後の回復過程においては、改良された道路網が新規投資の誘致等に貢献して行くことが期待される。

なお、道路の維持管理に関しては、車両の大型化とともに過積載車両も増加していることから、道路の定期補修の他、過積載車両の取締り強化のために必要な規則やモニタリング・システムの整備が必要と考えられる。